

教育・研究などへの取組状況

総合工学システム学科 都市環境コース 准教授 岩本 いづみ

項目	取組状況
教育	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 29 年度担当科目 構造力学Ⅰ（3C）、構造力学Ⅱ（4C）、構造実験（4C）、基礎工学演習Ⅱ（C）（2年）、基礎研究（4C）、卒業研究（5C）、応用振動論（専攻科1年C）、防災リテラシー（集中講義） ◆ 担当科目の取組状況（工夫・改善した点） すべての演習問題に模範解答を配布し、後に自学しやすいようにしている。 ◆ 特記すべき教育方法の実践例 構造力学の授業では、スポンジなどの模型を用い、目に見えない力を可視化して理解しやすいように取り組んでいる。
研究	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 27～29 年度における研究業績 <ul style="list-style-type: none"> ■ 学術論文執筆 <ul style="list-style-type: none"> ・西村拓巳，真野純司，岩本いづみ，阪本吉一：電動スライダを用いた二軸振動台の開発と評価，大阪府立大学工業高等専門学校研究紀要，第 51 巻，pp.5-14，H29.12 ・岩本いづみ，真野純司，阪本吉一：電動スライダを用いた一軸振動台模型実験装置の開発，大阪府立大学工業高等専門学校研究紀要，第 50 巻，pp.39-44，H28.12 ・棚橋秀光，岩本いづみ，鈴木祥之：伝統構法架構の復元力特性に及ぼす対角線効果，第 9 回歴史都市防災シンポジウム，歴史都市防災論文集 Vol. 9，pp.101-108，H27.7 ■ 実用新案登録 <ul style="list-style-type: none"> ・ 模型振動実験装置のための加振装置及び加振システム，平成 29 年 2 月登録 ■ 学術講演会での発表 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩本いづみ，清水秀丸：電動スライダを用いた振動台模型実験装置の開発，日本建築学会大会学術講演梗概集（九州），構造，pp.889-590，H28.9
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 27～29 年度における公開講座・出前授業の取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・公開講座「スーパージェットモルタルを用いた手形製作教室」（H28 年度，H27 年度） ◆ 平成 27～29 年度における学会などでの委員 <ul style="list-style-type: none"> ・ 門真市建築審査会委員（H27 年 4 月から） ・ 寝屋川市建築審査会委員（H28 年 6 月から）